2018-2019 学年度、保護者への年次通知 – 英語学習者のプログレスと配置について

保護者各位

アーバイン統一学校区への入学・編入学において、お子さんは、英語学習者（EL 生徒）と判断されました。カリフォルニア州・連邦政府法により、アーバイン統一学校区は、保護者にお子さんのテスト結果、プログラムへの配置、学習能力向上に役立つ更なる支援について、毎年通知するよう義務づけられています。

指導設定とサポート

2017-2018 **学年度に、**the *English Language Proficiency Assessments for California* (ELPAC) とその他のテスト結果により、お子さんの英語力のレベルを評価しました。これらの評価結果を分析し、英語発達のために適切なレベルでサポートを受けれるよう指導設定されたクラスへの配置を決めました。

2018 **年の春に、**3 年生から 8 年生と 11 年生の生徒を対象に CAASPP（the California Assessment of Student Performance and Progress ）を実施しました。IUSD は、生徒の学業的プログレスを測るため、このテスト結果を多くの基準の一つとして使用しています。

これらの評価結果により、お子さんの教育ニーズを満たせれるよう指導設定されたクラスに配置しました。すべての指導設定の目的は、生徒が適度の英語力レベルに達し、学年レベルのコンテンツ分野と学習ターゲットを満たすためです。

あなたのお子さんは、現在、以下の通り設定されているクラスに参加しています。

- ❑ Newcomer/Structured English Immersion with substantial to moderate support (TK-12)
  ニューカマー・SEI（(TK-12 年生) 相当程度から中程度ののサポートを受ける。
- ❑ English Language Mainstream with moderate to light support (TK-12)
  英語メインストリーム（TK-12 年) 中程度から小程度のサポートを受ける。
- ❑ Individualized Education Program (IEP)
  個別教育プログラム

授業設定、受けるサポートのレベル、配置基準 などについての詳細は 2 頁をご参照ください。

年次プログレスのモニタリング - ELPAC（*English Language Proficiency Assessments of California*）

英語学習者となった生徒は、英語力において再分類（リクラシファイド）されるまで、毎年、ELPAC 総合テストを受けます。学校のスタッフが、テストの予定（場所・日時）について保護者に通知します。

リクラシフィケーションの基準とタイムライン

生徒のリクラシフィケーションへの適格性を決め、ELPAC 総合テストが実施される前の２０１9 年１月に、保護者に推薦状を送ります。

適格性を検討されるには、生徒は以下項目（含むが不限定）の再分類基準を満たさなければならない。

1. リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングで英語能力が評価された。
2. 英語分野で、カリフォルニア州の標準そして/または学校・学校区での評価結果が堪能レベルである。
3. 担任がクラスでの言語・リテラシー(読み書き)スキルの発達を評価し、再分類への推薦に同意する。
4. 親・保護者が再分類への推薦に同意する。

Irvine Unified School District

英語学習者（EL 生徒）のための指導設定

TK—12 年生

設定タイプ	配置基準と説明
Structured English Immersion (SEI) **（構造的英語イマージョン）**	• 適度の流暢さに欠く生徒に推薦されるプログラムである。英語スキル発達段階において、 言語評価が口語・文語においてビギナーである。 • 英語能力が Emerging（ビギナー）レベル、または Expanding（発達中）初期レベルの生徒は、CA ELD 標準に基づき、構造・統合・特定された学業的言語スキル発達において、**相当程度から中程度の**サポートを受ける。 • 統合的プログラムデザインでは、英語、歴史・社会科学、数学、サイエンスで、学年相応のコースで指定されたサポートが組み込まれている。 • コースワークは、歴史・社会科学、数学、次世代サイエンスの科目において CCSS ELA, CCSS の標準に沿っている。 • 種々の指導ストラテジーと特殊な資料を使用して、コンテンツ分野全体の概念理解、言語獲得、リテラシースキル発達を促進する。 • 説明、指示、サポートなどを明確に理解できるよう、可能であれば第一言語のサポートが与えられる。 • 共通評価などは、生徒の言語習得を測り、モニターするだけではなく、言語習熟において、生徒が移行していく上での指導プランを知るためにも使われる。
English Language Mainstream（英語メインストリーム）	• 適度の流暢さを持つ生徒に推薦する配置である。言語評価結果により、口語と文語の英語スキルにおいて、ある程度順調に発達している。 • 英語力が Upper Expanding（発達中の上レベル）の生徒は、CA ELD 標準に基づいた構造・統合・特定された学業的言語スキル発達において、中程度から少程度のサポートを受ける。 • 学年レベルのコンテンツは、全学習者がアクセスできるよう配信される。 • 指導とコースワークは、英語、数学、歴史・社会科学、次世代サイエンスの科目において、CCSS 標準に沿っている。 • 概念的理解、言語習得、リテラシースキル発達を促進するために、さまざまな指導ストラテジーと特別な教材が使用される。 • 説明、指示、サポートを明確に理解するよう、可能であれば第一言語のサポートが与えられる。
Individualized Education Program **（個別教育プログラム）**	• この指導設定は、IEP プロセスを通して識別され、推薦される。 • IEP での明示において統合的にデザインされた英語発達（ELD）の指導モード。 • 詳細情報については、現地校の担当者(case carrier)に問い合わせる。

保護者の選択 - Alternate Language Acquisition Programs（代替え言語習得プログラム）
保護者は、お子さんのニーズを満たす最適な言語学習プログラムを選べます。学校区・学校のスタッフは保護者と協力しながら、お子さんにとって最も適切な配置と利用可能なサポートシステムを決めます。(Education Code 306)

卒業率 –全生徒 = 96.8%; 英語学習者 = 92.1%